

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第 9 号 平成23年5月10日

際立つこーすけの今期の活躍・・・

走塁と失策の差が勝利の境目！

	1	2	3	4	5	6	7	R
T	3	2	0	0	1	0		6
G	0	1	0	1	1	0		3



5/8(日)三ツ沢公園野球場に向き、春季区民大会2回戦を行った。悲願の3回戦進出を目指す我がチームとして、毎年の如く、この2回戦が非常に重要な事は、メンバー同充分認識しているところである。この場面にマウンドは、区民大会に燃えている男@達脳がマウンドに上がった。初回相手攻撃、先頭打者への配球、初球・2球目とコースを攻めながらストライクが先行する内容、今日はいつになく調子が良いな?と思ったその後5球目、打球は、投手のグラブを弾き、センター方向への打球となった。この打球に反応した遊撃手であったが、送球エラーとしてしまった。ここから相手チームの攻撃が牙を剥いた。安打2つと四球・犠飛で打者8人の攻撃で、3点を失点し、追いかれるゲーム展開となった。続く2回の攻撃では、長打と失策が絡まりまたもや2点の失点と、展開は更に苦しい展開となった。しかし、この場面でもチーム一丸逆転を目指した。3回には、今期非常に士気が高いこーすけが安打で出塁、その後2盗を決め、1死2塁の場面、次打者が放った打球は、三塁線の詰まった打球、これを内野安打とする間に、二塁から一塁生還し、1点を返した。また、4回には、この日1番の見せ場が出現。先頭はまたもやこーすけ、打球はショートへの強襲安打で出塁、その後、またもや2盗を決め、無死2塁の得点場面、後続の安打でホームインし、2点目を挙げた。5回にも安打とWPと失策の間に、1点を返したが、時既に遅かった。非常に頑張る姿勢を見せたゲームであったが、その今日のゲームを振り返ってみたい。

2点目の得点シーンは、3回に現れた。徐々に疲労感が出てきた相手投手、先頭・次打者と連続四球で出塁を許す。無死1、2塁の得点シーン、しかし、後続に後1本が出ず残塁、4回に得点したものの、安易な2つの走塁死により、自ら相手投手を助ける行為をしてしまった。5階、6回にも後1本が出ず、得点出来ず。しかし、後1本は結果であり、技量の無さから来ることなので、有る意味計算が出来ない行為と言えるかもしれない。しかし、走塁においては、どうであろうか?予断を許さない状況の中、いつものように、進塁を目指して良かったのか?欲は勝負において、非常に重要な要素である。しかし、その行為の裏に待っている出来事がリスクとして、考える余裕が有ったなら、この結果になっていなかったのではないかなと思う。この状況判断を事前にベンチ内で話をしていれば、ゲーム結果は変わったかも知れない、というタラレバになるが、結果を見てみると、失策数の差は有るが、走塁に関しての差が今日のゲームを分けたように感じたゲームであった。この借りは来年への持ち越しとなったが、今期一、ベンチが一番丸となったゲームでした。最後に、だからと言って、進塁への気持ちが消極的になる事はないです!